

「宮崎港みなと緑地サウンディング型市場調査」の対話結果の公表について

令和7年6月6日

宮崎県港湾課

1. 実施の目的

今回、緑地を活用した賑わい空間の創出と港全体の課題解決を目指し、「みなと緑地PPP」の活用を前提とした事業の参考とするため、本件に関心のある民間事業者の皆様と対話を行うサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

2. 実施のスケジュール

- (1) 実施要領の公表 令和6年8月20日
- (2) 実施期間 令和6年10月31日～令和6年11月15日

3. 結果の概要

- (1) 提案数 2件
- (2) 民間事業者の意見

対話の対象項目	対話概要
緑地の賑わい創出	<ul style="list-style-type: none">・ 緑地と収益施設の共同駐車場を整備する。・ 関係者と連携のうえ、定期的にイベントを開催する。
津波避難場所の確保	<ul style="list-style-type: none">・ 収益施設の屋上を津波避難場所とする。
緑地内道路の整備	<ul style="list-style-type: none">・ 管理者による整備が必要である。
港湾物流機能の向上	<ul style="list-style-type: none">・ 収益施設の物品搬入は宮崎港の利用を推奨する。・ 収益施設に船舶代理店を入居させる。
フェリーターミナルの移設に関する提案	<ul style="list-style-type: none">・ 賃貸条件の調整が必要である。・ 管理者による乗下船時の安全対策が必要である。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 資材価格の高騰による建設費の増加が懸念される。

4. 今後の方針

サウンディング結果を踏まえて、関係者等と意見交換を行いながら、「みなと緑地PPP」を含めた整備のあり方を検討していく。